*2023年　8月改訂（第2版）
2019年10月作成（第1版）

医療機器届出番号 34B1X00001000114

機械器具 74　医薬品注入器

一般医療機器　　経腸栄養注入セット　70400000

ジェイフィードＥＮプロテクトアダプタ

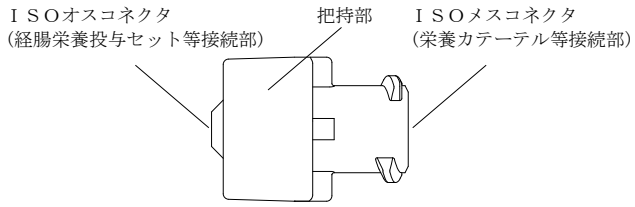
再使用禁止

【禁忌・禁止】

再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

〈構造図〉



・ＩＳＯオスコネクタ及びＩＳＯメスコネクタは ISO 80369-3 に適合している。
・本品はポリプロピレンを使用している。

〈原理〉

経腸栄養カテーテル等のオスコネクタに接続することで、オスコネクタのネジ部を栄養剤等の付着から保護するものである。

【使用目的又は効果】

胃又は腸に挿入したカテーテルと連結して経腸栄養剤等を投与する器具である。

【使用方法等】

*1. 包装を開封する。
*2. 包装の外側から本品の把持部を持ち、本品のＩＳＯメスコネクタを栄養カテーテル等の ISO 80369-3 に適合したオスコネクタに確実に接続する。
3. 包装を取り外す。
*4. 本品のＩＳＯオスコネクタを、経腸栄養投与セット等の ISO 80369-3 に適合したメスコネクタに確実に接続する。
5. 栄養剤等の投与を開始する。
*6. 投与後、本品の把持部を持ち、本品から経腸栄養投与セット等を取り外す（図1）。

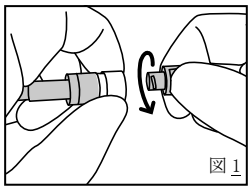


図1

7. 別の経腸栄養投与セット等を使用し、続けて栄養剤等を投与する場合、4.～6.の手順を繰り返す。
*8. 投与完了後、微温湯等を充填した経腸栄養用シリンジを本品のＩＳＯオスコネクタに確実に接続する。
9. 栄養カテーテル等に微温湯等を注入して洗浄する。
10. 洗浄後、本品の把持部を持ち、栄養カテーテル等から本品を経腸栄養用シリンジと共に取り外す。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

1. 他の医療機器を接続する際は、外れないように確実に行うこと。また、過度なかん合をしないこと。［コネクタが外れない、又はコネクタが破損するおそれがある。］
2. コネクタのはめ合わせ部に栄養剤等が可能な限り付着しないように注意すること。［接続部に緩みが生じるおそれがある。］
3. 本品から経腸栄養セット等のＩＳＯメスコネクタを取り外す際は、本品の把持部を持つこと。［意図せず栄養カテーテル等が本品から外れるおそれがある。］

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 使用中は次の事項に注意し、本品を定期的に確認すること。
(1) 本品が患者の下敷きになっていたり、ガートルスタンド等に引っ掛かったりしていないこと。［接続の外れ又は構成品の破損が生じるおそれがある。］
(2) コネクタの接続部の緩み、液漏れ、破損、閉塞及び空気混入等の異常がないこと。
2. 粘度が高い又は不溶解物を含む栄養剤等を投与する場合、流量の管理に注意すること。［詰まり等により、流量に変化が生じるおそれがある。］

〈不具合・有害事象〉

その他の不具合
　空気混入、漏れ、固着、外れ、緩み、詰まり、破損

【保管方法及び有効期間等】

〈有効期間〉

3年［自己認証(当社データ)による］
包装の使用期限欄を参照すること。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者
株式会社ジェイ・エム・エス

問い合わせ先
TEL 0120-923-107